

団委員長 様

公益財団法人日本ボーイスカウト栃木県連盟
理 事 長 白 澤 嘉 宏 (公印省略)
県連盟コミッショナー 中 村 利 久
(公印省略)

自粛期間及び活動再開に向けた現状調査アンケートのご報告

「新型コロナウイルスの感染防止対応」のため 2 月末よりスカウト活動を自粛していただき、自粛期間の 6 月末までの活動状況をアンケート方式でご回答を頂きました。そのアンケート結果のご報告をいたします。集計内容については別紙をご確認願います。

このアンケート結果により栃木県連盟として最新情報の開示やプログラム活動提案、団や隊での情報交換、県連 HP の改定などのプロジェクトチームを組み継続的に検討しております。

いまだに新型コロナウイルスの感染が続いております。各団におかれましては日本連盟の「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」と県連盟の最新の情報をご確認の上、活動をしていただくようお願い申し上げます。

アンケートの回答状況 内容は別紙参照願います。

- ・ 回答隊数 合計 37 隊 回答率 40% (全県内の隊数 93 隊 隊長の従登録あり)
- ・ 地区別 (隊/地区隊数)
東部地区 : 10/31 南部地区 : 13/31 西部地区 : 7/11 北部地区 : 7/20
- ・ 課程別 (隊/課程別県全体隊数)
BVS 隊 : 6/15 CS 隊 : 10/21 BS 隊 : 12/24 VS 隊 : 7/18 RS 隊 : 2/15

※一部アンケートの回答手順に不手際がありましたことをお詫び申し上げます。

【別紙】

「相談窓口プロジェクト」アンケートの集計概要

(6月30日集計終了)

質問1 「おうちプログラム」展開はしているか

- | | | |
|--------|------|-----|
| ・している | 27 隊 | 73% |
| ・していない | 10 隊 | 27% |

質問2 「している」と答えた方へ質問—「おうちプログラム」の内容はどうしていますか？
(複数回答)

- | | |
|----------------|-------|
| ・自分で考えて | 24/27 |
| ・日連や一般のサイトを参考に | 12/27 |
| ・団の支援 | 3/27 |

その他—隊指導者の提案、家庭内でできる進級プログラム、スカウト活動情報ニュースの公開、ローバープロジェクトの立案実行、ビーバーソング CD の配布、実修所の仲間からのアイデア、オンライン集会

質問3 「していない」「検討中」と答えた方へ質問—「おうちプログラム」ができていない理由は何ですか？ (複数回答)

- | | |
|----------------------|------|
| ・プログラムが考えられない/思いつかない | 5/10 |
| ・他の指導者と連絡がうまくいかない | 4/10 |
| ・活動自粛なので活動する必要がない | 2/10 |

その他—コロナ関連で忙しい、感染経路や感染力がはっきりしないのであえて課題を出さなかった、上進や入隊式もせず隊長も変わって何もできなかった、web 環境が整わない、保護者にはビーバーノートをよく読むようにと伝えていたが活動の指示は出していない、保護者の協力が得られない

質問4 県連への要望

- | | |
|---------------------|------|
| ・プログラム事例の紹介をしてもらいたい | 13 件 |
| ・活動再開に向けた支援をしてもらいたい | 6 件 |
| ・Web 会議の方法を教えてください | 3 件 |
| ・自隊で対応が可能 | 2 件 |
| ・動画の配信方法を教えてください | 2 件 |

その他—アンケート結果の公表をしてもらいたい、ニューノーマルでのスカウティングの注意事項の紹介、アンケートは必要ですが整備しないと実態が見えない

質問5 コメント 自由意見 (抜粋、要約、重複意見多数)

- ・各団の取り組みを早々に、各団へ展開してスカウトへ情報提供してほしい
- ・緊急事態宣言解除後の感染動向を注視していく必要があります
- ・アンケートの時期としては先月半ばあたりがよかったですと思います
- ・日連が自粛の通達を出すだけではなく部門ごとの活動サンプルやフォーマットなどを展開してくれればそれに沿って日本全体的に活動を進める事ができたのでは無いかと思います
- ・いつみても県連のホームページの更新がされていません。例えばキャンポリーの中止等県連ニュースを載せてください
- ・スカウティングの有用性は理解するが、中学生などはプリントなどの宿題が多くスカウトに過度の負担とならないように配慮が必要と感じた
- ・6月から集会を再開するが、まずは学校と部活の状況を確認した上で、リハビリのように段階的にペースを取り戻す
- ・まもなく、学校が再開すると、学校の授業の遅れを取り戻すため、ますますスカウト活動から遠ざかる可能性あり
- ・他の団・隊の情報、事例等、横の関係を密にし、自団・隊の活動に生かすことが必要です
- ・今後の為『おうちプログラム』を考えたいと思います
- ・テレワーク・在宅勤務の対応でスカウト活動に取り組む心の余裕がありませんでした
- ・コロナも収束していないので三密をしない活動を検討中
- ・「新しい生活様式」での活動を保護者と話し合い、理解と協力を得たうえで活動にかかりたい
- ・半年以上宿泊キャンプができないので進級に影響しそう
- ・スマホでのミーティングや集会は環境が整わないので成り立たない
- ・やはり皆が集まって話し合う中から色々生まれてくるものだと痛感しています